

各項目の評価方法は、4段階評価（A～D）とする。

A : 達成されている。

B : ほぼ達成されているが、不十分なところがあり改善に取り組んでいる。

C : 達成に向けて努力している。

D : 達成されていない／必要性に気づいていなかった。

1. 教育理念・目的等

1 市川日本語学院の理念

グローバルな社会の中、日本を選んだ学生の夢の実現に向けて共に歩んでいける

『日本の母校』として、学生達の心の拠り所となる。

2 市川日本語学院の教育目標

母国を離れた日本という異文化に共存できるグローバルな人間の育成に努める。ま

た、各学生の目的や目標に寄り添った教育、指導に努める。日本語だけでなく、異文

化の中での生活面での指導に努める。

3 市川日本語学院が育成する人物像

何事においても『ありがとう』という感謝の気持ちを持ち、日本と母国の懸け橋となる人物を育成する。

2. 学校運営

1 運営方針が定められている。

【A】

2 事業計画が定められている。

【A】

3 運営組織や意思決定機能が確立され、効率的なものになっている。

【A】

4 人事や賃金での処遇・職場環境の改善に関する制度が整備されている。

【A】

5 情報システム化等による業務の効率化が図られている。

【B】

6 学校運営を客観的に評価し、維持向上させる機能が整備されている。

【A】

7 危機管理体制が整備されている。

【A】

8 施設・設備が教育上の必要性及び安全確保に十分対応できるよう整備されている。

【B】

3. 教職員

1 教育理念・目的が教職員間で共有されている。

【A】

2 教育の質を向上させるための取り組みが確立されている。

【A】

3 教職員評価を行っている。

【A】

4. 教育活動

1 カリキュラムが体系的に編成されている。

【A】

2 授業評価の実施・評価体制がある。

【A】

3 目標に向け授業を行うことができる要件・資質を備えた教員を確保している。

【A】

4 成績評価が適切に行われている。

【A】

5 各種日本語試験の認定率向上のための指導体制が整っている。

【A】

5. 学生支援

1 進学・就職指導に関する体制が整備され、有効に機能している。

【A】

2 学生相談に関する体制が整備され、有効に機能している。

【A】

3 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポートを担う体制があり、有効に機能している。

【A】

4 学生寮等、学生の生活環境への支援が行われている。

【A】

5 保護者と適切に連携している。

【A】

6. 在留管理と生活指導

1 入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われている。

【A】

2 日本社会を理解するための支援が適切に行われている。

【A】

3 日本の法令を遵守させる指導を行っている。

【A】

4 常に最新の学生情報を把握している。

【A】

7. 学生の募集と受け入れ

1 学生の受入方針が定められている。

【A】

2 学生募集活動が、適正に行われている。

【A】

3 入学選考が、適正かつ公平な基準に基づき行われている。

【A】

4 適正な定員設定及び在籍者数になっている。

【A】

8. 財務

1 中長期的に学校の財務基盤が安定している。

【A】

2 予算・収支計画が有効かつ妥当なものとなっている。

【A】

3 財務について会計監査が適切に行われている。

【A】

4 財務情報公開の体制整備ができている。

【A】

9. 法令等の遵守

1 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされている。

【A】

2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられている。

【A】

3 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めている。

【A】

4 自己点検・自己評価結果を公開している。

【A】

5 関係省庁・関係機関への定期報告を遅延なく実施している。

【A】

10. 社会貢献

1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っている。

【A】

2 学校周辺の地域住民との交流活動を行っている。

【A】